

# TCG用語全集

2021 年 1 月

## 概要

TCG（トレーディングカードゲーム）用語は、元祖であるゲーム、マジック：ザ・ギャザリングのプレイヤーのプレイヤーが使いだした語が起源であり、生まれた様々な用語はのちの後発TCGにおいても流用され、大きな意味を持っています。

この記事では、TCGを楽しく遊ぶために知っておきたい用語をまとめます。

### 01. アド

- a. アドバンテージの略。自分にとって有利な出来事全般を指す。アドが大きいと「爆アド」と呼ばれる。対義語は「ディスアド」。《用例》「この引きはアド」「こっちから殴った方がアドが大きい」

### 02. 板（いた）

- a. 鉄板の略。多くの場合正解となる安定した戦略のこと。《用例》「取り敢えず神ジェイス出すのが板」

### 03. OTK

- a. One Turn Killの略で、自身の1ターン目にして勝負を決めること。2ターン目以降に1ターンで勝負を決める場合は「ワンショットキル」と呼ばれ、区別される。《用例》「OTKエクゾディア」「赤単轟轟轟にOTKされる」

### 04. カット

- a. プレイ中にデッキをシャッフルした際、仕込み防止のために対戦相手がシャッフルしたデッキをシャッフルすること。身内などでは省略されることもあるが、公式戦ではしっかりと行うのが良い。《用例》「カット要りますか？」「カットお願いします」
- b. ドラフトという遊び方において、自分に必要はないが相手に使われたくないカードを敢えて選ぶという戦術《用例》「あのカード打たれたら死ぬからカットしよう」

---

## 05. 事故

- a. 引いたカードが弱いために自分の望むプレイングが出来ないこと。これが起こることは事故と呼ばれ、事故りにくくすることがデッキの安定感につながる。《用例》「手札が事故った」「事故って〇〇が落ちねえ」

## 06. シャカパチ

- a. カードのシャッフル方法のひとつ「ハンドシャッフル」を応用することで、手札のカードの位置を高速で入れ換えつつ大きな音を鳴らすこと。カードが歪む上にそのうるささから往々にして嫌われるので、身内ではやらない方が賢明。《用例》「シャカパチ警察出動します」「シャカパチしていいですか？」

## 07. ジャスキル

- a. 「Just kill」の日本語読みの略。相手を倒すのに丁度必要なだけのダメージのこと。《用例》「これでジャスキル打点が揃う」「ジャスキルに2点足りない」

## 08. ジャッジ

- a. カードゲームの大会にいる審判のこと。ルールに詳しい。《用例》「ジャッジ呼びますよ？」

## 09. ソリティア

- a. 対戦相手に影響を与えないドローカードやブーストカードを使い続けること。またそれを組み込んだデッキ。対戦相手は何もできない（そのまま勝敗が決することも多い）ため嫌われやすい。よく「壁とデュエル」などと揶揄される。《用例》「まあたソリティアかよ」「ソリティア入ります」

## 10. 点

- a. 自分が相手に与えられるダメージののこと。打点とも。カードゲームによって指すものが微妙に異なる。《用例》「ジャスキル1点足りない」「このカードは3点持ちだ」

## 11. デッキトップ

- a. 山札の一番上のカード。対義語はデッキボトム。単に「トップ」「ボトム」と呼ばれることも。《用例》「効果でデッキトップ3枚捲ります」「トップ〇〇は弱いな」

## 12. ドロソ

- a. 「Drawing Source」の日本語読みの略。山札からカードを引く効果のこと。デッキから特定のカードを選んで手札に加える効果は「サーチ」と呼ばれ、区別される。《用例》「〇〇は実質ドロソ」「ドロソ無いから動けん」

## 13. 握る

- a. 手札にあるカードを持つこと。「抱える」とも。《用例》「お前絶対〇〇握ってるだろ」「〇〇握ってる読みハデス」

## 14. バウンス

- a. 手札にカードを戻すこと。《用例》「このカードバウンスで」「バウンス耐性あるの厄介だな」

---

## 15. ハンデス

- a. 「Hands Destruction」の日本語読みの略。相手に手札を捨てさせる効果のこと。相手が手札を選んで捨てるセルフハンデス、こちらが手札を見て捨てさせるピーピングハンデスなどの種類がある。《用例》「青黒ハンデス」「ハンデス持っていない前提のプレイ」

## 16. ハンド

- a. 手札のこと。《用例》「ハンド何枚ですか?」「このデッキはハンド切れがち」

## 17. 盤面

- a. クリーチャーやモンスターが出ているフィールドのこと。ゲームによって微妙に指す場所が異なる。盤面にあるカードに干渉することは「盤面に触る」、相手の盤面にあるカードを除去することは「盤面を取る」と呼ばれる。類語は「ボード」。《用例》「この盤面はキツイ」「取り敢えずボード取っておくか」

## 18. 墓地肥やし

- a. 山札や手札から意図的にカードを墓地に置くこと。墓地のカードを利用するデッキでは必須とも言える作業。類語として「墓地に落とす」がある。《用例》「初動墓地肥やし」「墓地が肥えなくて辛い」

## 19. 掘る

- a. サーチやドローなどを利用して、自分の山札の公開領域を増やすこと。基本的にはデッキに1,2枚しか入っていないカードを手札に加えるために行われる。《用例》「ピン投の〇〇を掘りに行く」「掘ってたらデッキ一周した」

## 20. 剥く

- a. パックを開けること。《用例》「新弾買ったから剥くわ」「オリパ剥いたけど当たり来ねえ」

## 21. メタ

- a. 特定のカードや効果への対策を施すこと。また、それができるカード。メタを用意することを「メタを張る」と呼ぶ。《用例》「とりま呪文メタ張っとけ」「墓地メタはキツイって」
- b. 「Metagame」の日本語読みの略。一定のカードプールにおいての、環境のこと。《用例》「このメタならあのデッキが板」

## 22. 山

- a. デッキのこと。転じてデッキ構築のこと。《用例》「山切れそう」「この山はハンデスに強い」

## 23. ライブラリアウト

- a. 山札がなくなること。これをするといけるTCGが多い。「Library Out」の頭文字をとってLOとも呼ばれる。《用例》「勝ち手段無いからLO狙うか」

---

## 24. リアニメイト

- a. マジック:ザ・ギャザリングのカード『Reanimate』

”墓地にあるクリーチャー・カード1枚を対象とし、それをあなたのコントロール下で戦場に出す。あなたは、その点数で見たマナ・コストに等しい点数のライフを失う。” というカードの名前を文字って、墓地からモンスターを戦場に出す戦術の総称。略してリアニとも呼ばれる。《用例》「赤黒リアニ」

## 25. ロック

- a. 何らかの方法で相手の行動を制限すること。「召喚ロック」「呪文ロック」などがある。手札破壊やマナ破壊もロックの一種と呼べる。

## 最後に

最後まで見て下さった皆さま、ありがとうございます。

今回作った自作ゲームをどうかプレイしてみてくださいませ。（別記事、「NEW カードゲームの話」を参照のこと）